

先生方に迷惑をかけていることはわかっている(県教委)



香教組の要望を聞く県教委

国がやらない状況で 県がやるわけにはいかない事情がある

今年度での三十五人以下学級実現を早急に

組合

全教の調査によると、多くの地方公共団体で今年度での少人数学級が実現している。香川県は出遅れている。

40人でダブルが多かった学年が、少人数になる20人余になると別人のように落ち着いた。学力をあげようと思えば、少人数学級が効果がある。35人といわず、さらに少なくする。子どもたちもそう言っている。

特別支援学級在籍(以下、特支)の子どもが交流する学級では、さらに増える。特支の子どもも数に入れた35人学級に。

県教委

県内で少人数学級を実施しているのは、小学校98.2%、中学校で86.2%

組合

実施されない理由は何? 県教委は把握しているのか

県教委

配置できる人数は決まっているので、「なぜいないのか」

香川教育

発行所 高松市田村町1033-3 TEL (087) 867-4797 FAX (087) 867-6446 kakyoso@kakyoso.com 香川県教職員組合 定価 1部50円 1月100円 (組合員の購読料は組合費に含む)

香教組ホームページ http://kakyoso.com/

11月12日、香教組は2020年度の予算要望について県教委と交渉しました。県教委は、「先生方には迷惑をかけている」と言いつつも、「努力はしている」を繰り返して回答するに留まりました。また、大久保委員長はあいさつの中で、「長時間労働は正には、人を増やし勤務時間内に仕事が終わるような仕事量にすることが第一であり、働かせ放題になることが危惧される1年単位の変形労働時間制の導入に強く反対する」と話しました。

か「何人いるのか」を調査し、県が配置している。

組合

4年生以下で少人数学級になっている場合も少人数指導を受けるようになっていくのか。

県教委

どの学年で少人数指導をするかは学校に任せている。

組合

5年6年と少人数学級にしたいのに、加配は1人。

県教委

1学年しか少人数学級にできないなかつた。県教委は仕方がないと思っているのか。

県教委

1月に次年度の状況や希望を各校から聞き取りをしている。「5年も6年もしたい」という要望があれば、十分に管理しながら配置を行っていると考えている。

組合

少人数学級の未実施校は高松市に集中している。さらに、教員未配置も加わっている。県教委は、この状況を把握しているのか。市町教委任せなのか。

県教委

把握している。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

子どもたちも悲鳴をあげている。これまで県教委は国が定数改善をしない限りは実施しないと回答してきたが、県独自でも実施できる。他県はしている。あちこちの40人学級で、「登校がしんどい」「感覚過敏タイプの子が苦しめて教室に入れない」などの事態が起きている。特別なニーズのある子どもたちは特にしんどい。香川県はインクルーシブ教育にも力を入れていると胸を張っているように、子どもたちの学力の向上と心の安定のために、独自で今年度の35人以下学級の実現を強く要望する。これは急ぐ。

県教委

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

が関心事。中学校側は、支援学級では対応するが、交流学級では誰もつかないと回答。保護者は、「支援がない子なのになぜ(人が)つけないのか」と不思議がっていた。同じように教育を受けた。支援の必要な子には必要な支援をとというのが保護者の願い。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

組合

働き方改革、業務改善がいわれている。担任する子どもの数が減り、教員の数が増えれば、その解決が一部図れる。

外国人児童生徒の日本語教育制度を整えて

組合

入管法改正に伴い今後外国人児童生徒の増加が予想される。先手をうって条件整備を始めて欲しい。

組合

他県では、潜在能力はあるが、日本語が話せない児童生徒を特別支援学級で対応している。北欧であれば、それもあるだろうが、日本の特別支援学級は、障害児教育の色合いが強い。日本語ができないことを理由に特別支援学級への入級はおかしい。

そもそも、日本語教育には資格がいる。現職教員は資格がない人が多い。ブラジル大使館は、ブラジル人を潜在能力があるのに日本語ができないという理由で特別支援学級に入れるのは差別ではないかと日本大使館に申し入れしたと聞いている。香川県ではそんなことがないように先手の施策をお願いしたい。現場が困ってからは遅い。

県教委

2018年度、香川県の外国人児童生徒は143名。日本語指導の必要な児童生徒は丸亀市、多度津町など、一定の地域に集中している。

授業で使う言語は日本語の中でも難しい。日本の生活様式も分からない。人を一人つけても難しい。

丸亀市は、早くから城乾小に日本語教室を開いている。そのノウハウを教えてもらいながら、2019年度、多度津町にモデル的に日本語初期教室を開いている。今後、日本語指導の必要な外国人児童

生徒が増えてきたところに、カリキュラムや良い指導方法などの情報発信していければと思う。

組合

多言語に対応しているか？

県教委

今のところは、2か国語に対応している。現在は、指導の中心となる先生は、元教員。カリキュラムを作ったり指導にたかりしている人。言語的な面に指導員をつけて対応している。

組合

日本語指導の必要な児童生徒が集中していないところも困っている。そこにも目を向けて。今後に期待する。

教員未配置の早期解消を

組合 教員の未配置と現場の大変な状況については県教委は把握しているのか。

県教委

代替教員の未配置については、先方々に迷惑をかけていると常に思っている。教育事務所の管理主事も一生懸命に探している。現在、どの学校に穴が空いているのかも、教育事務所に問い合わせるとわかる状況である。

配置については、退職者に「非常勤でも入ってもらえないか」と声をかけているが、追いついていない。

組合

「迷惑をかけている」「人がいれば雇う」でも、「現場はがんばれ」学校訪問では、「他校ではこんな実践がある。もつとがんばれ」と講評され、私たちががんばらされているもつと、当事者意識をもって対応してほしい。

組合

代替教員の引継ぎ制度について教えてほしい。

組合

産前休暇に入る前1週間以内のいづれか1日引継ぎ日がある。

組合

学級担任だけか。予算の範囲で要望があれば、引継ぎがなければならないか相談しながら設定できる。

組合

引き継ぎがなくともよい職種があるのか。職種によって区別されているのか。

組合

引き継いでおかなければならないことがたくさんある。

組合

専科教員は引継ぎの必要な仕事をしていないということか。

組合

そういうわけではないが、より必要なのは学級担任だと認識している。

組合

学級担任と専科教員の軽重的な発想法が専科教員を苦しめている状況がある。

組合

産前の引継ぎはあるが、産後復帰の際の引継ぎはないのか。

組合

産前産後の引継ぎが必要があればいい。

組合

春休みにすでに特別支援学級担任の病休代替が見つからなかった。暫定的に教頭が担任に。

組合

産休代替も見つからずに教頭が探し回って確保した。本来は、事務所で見つけるもの。これまで、10年近く「努力している」と回答ももらった。状況は悪化している。

組合

厳しい状況であることは間違いない。迷惑をかけていることも分かっている。

組合

本年度、育休任期付き代替教員の登録期間を1年から3年に延長した。

組合

昨年度の反省から、必要数を確保するために採用試験の不合格者に、講師の内定通知を送った。

教育長

4つの項目について、基本的な課題認識は全く同じ。「教育は人なり」人が十分に配置できれば解決できることばかり。私たちがとしては、努力の足りなさから予算折衝がある。できる限りがんばりたい。

国に要望してできないなら、自分たちでと厳しい言葉をいただいた。しかし、そうしてしまうと怖い面もある。現状様々なのが地方に押し付けられている。財政措置がないままやれと言われている。あつても3分の1程度。その度に地方の負担は増える仕組みになっている。その中で、努力し地方がやってみようという「できるでしょ」となる。だから、国に対して言わなければならぬ。これまでは教育長会議だけだったが、知事や議長にも言ってもらった。いろんなルートで「文科省ががんばれ」「地方のことも見てくれ」という活動も必要。

責任転嫁をするわけではなく、こういう側面も分かっている。今日のような率直な意見を聞くと、身が引き締まる。まもなく始まる予算折衝を頑張っていきたい。

わかってはいるけどできないと言っているのと同じです。私たちが、未来をつくる仕事をしています。「わかりました」と引き下がるわけにはいきません。

小黑板

先日、教え子が電話があった。退職を1カ月前に申し出た。残りの有給を消化しようとして申請したが、激怒され取得できなかったという。主任に根拠のない嫌がらせを受けた。主任は関係のない部署の失敗の責任を押し付けられた。午後11時までの勤務の翌日、早朝7時半開始勤務のパターンが他の人より多かった。とも言っていた。そうこうしているうちに勤務中にケガをした。労災にもならないし、療養のための休暇も取らせてもらえないと嘆いていた。聞くと、就職のときの労使契約書を交わしていない。給与や勤務時間などの約束を書面で

知らないといふことになる

確かめていないというのではなからぬ。労働監督署に訴える手段がある。これを伝えた。教え子は、「あと数日だから我慢する。次就職の際には勉強して、きちんと確かめる」と言っている。電話を切った。日本の子どもたちに労基法をはじめ、労働者のルールを学ぶ場はない。私たちが教員も知らない人が多くいる。しかし、知らないがゆえに雇用者のいいようにされ、体や心が壊れ働けなくなっている人が増えている。1年単位の變形労働時間制が教員に適用されようとしている。調べれば調べるほど、この制度は、労基法違反や矛盾だらけだ。教員の無関心を利用したまやかしの制度だ。一人一人が、問題意識をもって考え、導入させないことが重要だ。